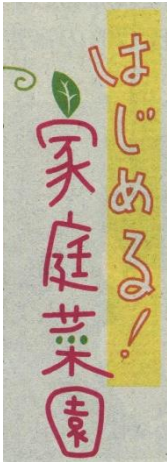


⑥ハクサイを育てよう



ネットで覆い防虫対策

ハクサイは鍋料理の定番野菜として欠かせない一つです。鍋以外でも炒めたり、漬物にしたりと家庭で一般的な野菜です。1玉2〜3キロと大きな野菜ですが、最近は800グラムから1キロのミニハクサイもあり、大きめのプランターでも育てられるものもあります。

①プランター

一般的なプランターより大きめで、長さ70センチ、幅30センチ、深さ30センチ以上の大きめの菜園プランターが良いです。

②培養土

一般の野菜と同様に排水が良く、有機物を多く含む土が良いです。市販の野菜用培養土や、赤玉土7割、腐葉土2割、バーミキュライト1割を混合して使います。

③肥料

培養土10リットルに対し、堆肥200グラム、化成肥料15グラム、苦土石灰10グラムを土とよく混合して使います。

④苗の準備

自分で種をまく場合、3寸のポリ鉢に2〜3粒まき、苗の成長にしたがって間引きます。間引きは本葉2〜3枚のころ行い、本葉の白い葉脈が太い葉のものを残しましょう。市販の苗を準備する場合は、葉の色が濃く、虫喰いが無いものを選びます。大きさは本葉4〜5枚くらいのものを選びます。

⑤植え付け

株間25センチ〜30センチでプランターに2株植えます。植え付けるとき、苗の根鉢の表面がプランターの土の表面より低くならないように（深植え）土と根鉢の表面の高さをそろえて植えつけましょう。

⑥管理

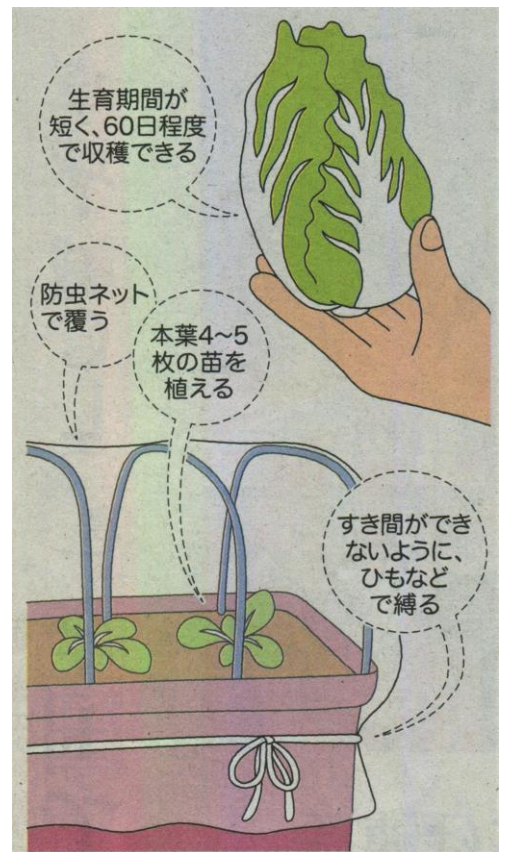
ハクサイはアオムシやコナガ、ヨトウムシなどの害虫がつきやすく、すぐに虫喰いになるので、プランターにトンネル支柱を立て、防虫ネットで覆いましょう。防虫ネットは、プランターのすそにすき間ができないようにひも等で縛って止めてください。

⑦追肥

ミニハクサイは生育期間が短く、60日程度で収穫できるので、元肥でも十分育ちます。追肥をする場合は、中心の葉が立ち上がってきたら結球を始めますので、この時期に1回だけ行います。あまり早く追肥を行うと葉が大きく広がり結球が遅れます。

⑧収穫

結球したハクサイの頂上部分を手でおしてみて、詰まってきていれば収穫できます。



(鹿児島市都市農業センター)